

さいたま市立病院だより えがお

Vol.44

排尿ケアチームの紹介



排尿ケアチーム

スローガン

「患者さんの尊厳を守った排尿自立支援を行う」

おしっこをする（排尿）場合に、尿を出す時には副交感神経、尿を溜める時には交感神経が関係しています。しかし、病気による治療や手術の影響などによって、尿が近くなったり、出なくなってしまうたり、我慢することが出来ず漏れてしまうことがあります。要因はさまざまであり、根拠に基づいた適切な診断とケアが必要となります。

多職種での包括的なケアを行うために、当院では泌尿器科医師、看護師、作業療法士、薬剤師のスタッフで構成された「排尿ケアチーム」を今年度より発足しました。排尿ケアチームは病棟看護師または外来看護師と連携を取りながら、患者さんに合った排尿の問題解決に向けたケアをします。具体的には、各種検査、薬物療法、リハビリテーション、骨盤底筋訓練、自己導尿指導、生活指導、飲

水指導、尿パッドの種類の提案などをします。

排尿ケアチームの対象患者さんの中には、手術や治療のために膀胱に挿入された管（尿道カテーテル）の抜去後に、尿が出にくくなったり、または尿が漏れてしまうなどの排尿障害が見られる方がいらっしゃいます。そういった患者さんに対して、週1回のカンファレンスと入院中は病棟回診を行い、退院された後は、排尿ケアチーム外来で療養環境や生活スタイルを検討しながら、排尿自立のための支援を行っていきます。

排尿の問題は日常生活に大きく関わっています。安心して退院後の生活を過ごすことができるように、入院中のみならず外来でもチームで取り組み、患者さんの尊厳を守った排尿自立支援を行っていきたくと考えております。

呼吸器内科と 新型コロナの日常

呼吸器内科 部長 舘野 博喜

当院では昨年の春以来、新型コロナウイルス感染症患者さんの治療を行っています。新型コロナウイルスに感染している患者さんは、他の人と接触しないようにする必要がありますため、院内で皆さんがお見かけすることはないと思います。そのためか、外来の患者さんなどから、「市立病院では新型コロナウイルス感染症の患者さんを見ているのですか？」と聞かれることもあります。

当院に新型コロナウイルス感染症で入院された患者さんは、今年6月までで600人近くになりました。埼玉県からの要請に対し、軽症・中等症・重症のすべての患者さんを受け入れています。では、患者さんはどこに入院されているのでしょうか？軽症・中等症の患者さんは、一部の一般病棟を新型コロナウイルス感染症専用病棟に作り替えて、重症の患者さんは集中治療室の一部を新型コロナウイルス感染症専用にして受け入れています。ときどき全館放送で、院内の移動が制限されるお知らせを聞かれることがあるかもしれません。主に新型コロナウイルス感染症患者さんの受け入れのため、一部院内での移動を制限し、動線を確保する合図になって

います。

新型コロナウイルス感染症が流行し始めた当初は、暗中模索のような状態で診療にあたりました。当院ではECMOを使うことはできないため、最重症の患者さんはECMOを使うことのできる近隣の病院に搬送する必要があります。まだ有効な治療法もなかった当初、人工呼吸器に必要な酸素量が限界まで達した患者さんを転院させたことがありました。ドア・トゥ・ドアで30分でしたが、酸素ポンペを予備の分まで使い切ったり、気管から分泌物が放出されたりと、患者さんも私どもも命がけの状態でした。後日、無事に退院されたと聞き、心から安堵したものです。

院内では病院の職員にも多くの制限が課せられています。マスクとゴーグルを常時着用し、食事も一人で摂るか複数人の場合は距離をとり無言で食事をします。新病院に移転しスタッフの入れ替わりも多いですが、懇親会や歓送迎会などは開催せず、いわゆる飲み会やカラオケなどにも行かずに徹底した感染対策をおこなっています。そんな中、地域の方々から温かい励ましのメッセージをいただき、日々勇気づけられています。今後ともあたたかいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



感染外来

一般の患者さんと動線を分けています



感染用エレベーター

感染病棟へ直通的エレベーター

新任医師の ご紹介



※令和3年4、5月入職
※紙面の都合により、一部のご紹介となります



消化器内科 部長 金子 文彦

埼玉メディカルセンターより赴任しました。市立病院のソフト・ハード面での充実ぶりに驚くばかりです。早く新環境に慣れ、お役に立てるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

趣味又は座右の銘

●スポーツ、音楽鑑賞、ランニング



消化器内科 医師 星 瞳

地元埼玉で力を発揮できるよう精一杯頑張ります！よろしくお願いいたします。

趣味又は座右の銘

●一日一善



消化器内科 医師 山本 傑

地域医療に貢献できるよう尽力いたします。よろしくお願いいたします。

趣味又は座右の銘



消化器内科 医師 町田 健太

地域の皆さまのお力となれるよう精進いたします。よろしくお願いいたします。

趣味又は座右の銘

●スポーツ全般



循環器内科 医師 中澤 直美

地域の医療に貢献できるよう努力してまいります。よろしくお願いいたします。

趣味又は座右の銘



小児科(小児一般) 医長 高木 虎太郎

地域の医療に貢献できるよう精一杯頑張ります。

趣味又は座右の銘

●水泳



消化器外科 医長 藤田 優裕

肝胆膵外科を専門としております。この地域の肝胆膵腫瘍の予後向上に尽力させていただきます。

趣味又は座右の銘

●テニス、日本酒



消化器外科 医師 根本 憲太郎

一人一人に寄り添った医療を心がけてまいります。よろしくお願いいたします。

趣味又は座右の銘

●ダイビング、キャンプ



整形外科 医長 富田 雄亮

患者様が笑顔になれるような診療を心がけます。

趣味又は座右の銘

●笑う門には福来たる



産婦人科 部長 中川 博之

周産期に加えて婦人科腫瘍の領域でも地域のニーズにこたえていきたいと思っております。

趣味又は座右の銘



麻酔科 医長 佐藤 正顕

これまでの経験を活かし、安全な医療を提供したいと思います。よろしくお願いいたします。

趣味又は座右の銘

●スポーツ観戦

新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いします

以下の症状がある方は、必ず事前に電話連絡をしたうえでご来院いただきますようお願いいたします。

発熱



強い倦怠感や
風邪の症状



においや味を
感じない



入口で検温をお願いしております

ご来院の際はマスクの着用
をお願いします。

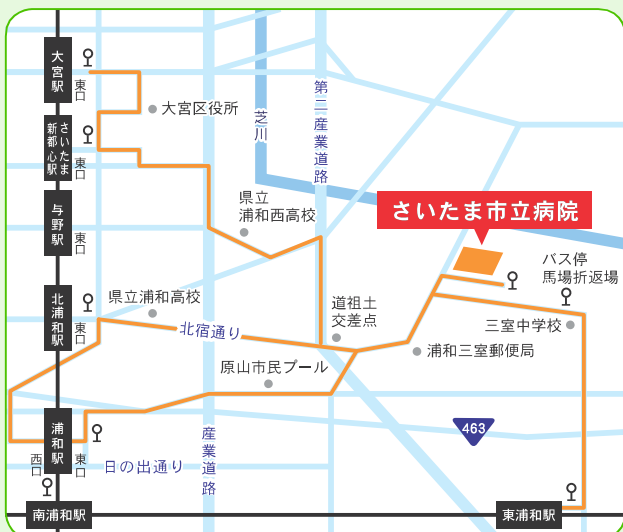


面会を原則禁止とさせていただいております。

面会は、入退院時、病状説明時、手術当日など、医師または看護師からご連絡させていただいた場合に限らせていただきます。また、洗濯物等の受け渡しでご来院の際は、病棟入口のインターフォン外側で対応いたします。



アクセス



- ・JR「北浦和駅」から
東口 東武バス「さいたま市立病院」行き 終点下車(約 15 分)
- ・JR「浦和駅」から
東口 国際興業バス「南台」行き「市立病院」下車(約 20 分)
西口 東武バス「さいたま市立病院」行き 終点下車(約 25 分)
- ・JR「さいたま新都心駅」から
東口 東武バス「さいたま市立病院」行き 終点下車(約 30 分)
- ・JR「東浦和駅」から
国際興業バス「馬場折返場」行き 終点下車(約 15 分)、
下車徒歩 5 分
国際興業バス「市立病院」行き 終点下車(約 20 分)
- ・JR「大宮駅」から
東口 東武バス「さいたま市立病院」行き 終点下車(約 40 分)

さいたま市立病院
住所 : さいたま市緑区大字三室2460
電話 : 048-873-4111
ホームページ : <https://www.city.saitama.jp/hospital/index.html>

発行:さいたま市立病院 発行者:院長 堀之内 宏久



※ この印刷物は1,200部制作し、1部あたりの印刷経費は60.5円です。